



文化財庭園へご来園の皆様へ

都立庭園は、江戸、明治、大正時代から続く歴史・文化・自然を兼ね備えており、いずれも国や都の文化財に指定されています。震災や戦災、進む都市化の中で残された貴重な存在であり、この貴重な存在がよりよい状態で後世に残るよう、皆様にご理解とご協力をお願いいたします。

【庭園からのお願い】

- ペット(動物)を連れてのご入園、園内の動植物の採集、数物の利用、酒類の持込みはご遠慮ください。
- 園内での喫煙はご遠慮ください。
- 写真撮影、写生は建物・添景物保護の為に断りする場所があります。
- 文化財は定期的な保存修理工事を要することがあり、一部ご観覧いただけない部分があります。

都立文化財9庭園

- 浜離宮恩賜庭園
- 旧芝離宮恩賜庭園
- 小石川後楽園
- 六義園
- 旧岩崎邸庭園
- 向島百花園
- 清澄庭園
- 旧古河庭園
- 殿ヶ谷戸庭園

特別名勝 六義園

- 開園年月日
昭和13(1938)年10月16日
- 開園面積
87,809.41㎡
- 開園時間
午前9時～午後5時
(入園は午後4時30分まで)
※イベント開催期間などで時間延長が行われる場合もあります。
- 休園日
年末年始(12/29～1/1)
- 無料公開日
みどりの日(5月4日)
都民の日(10月1日)
- 庭園ガイド(無料)
土、日曜日、祝日
(午前11時と午後2時の1日2回)

【お問合せ先】
六義園サービスセンター
☎03-3941-2222
〒113-0021東京都文京区本駒込6-16-3

スタンプ欄

入園料	個人	団体 (20名以上)	年間バスポート (六義園)	年間バスポート (9庭園共通)
	一般 300円 65歳以上 150円	240円 120円	1,200円 600円	4,000円 2,000円
無料	小学生以下及び都内在住・在学の中学生 身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または療育手帳持参の方と付添の方			

集会場 (貸室)	六義園・旧古河庭園「園結び」入園引換券 400円			
	①午前の部 9:00～12:00	②午後の部 12:30～16:00	③1日 9:00～16:00	
心泉亭 全室(25名)	4,800円	4,800円	9,600円	
心泉亭 松・つつじの間(17名)	3,600円	3,600円	7,200円	
心泉亭 もみじの間(8名)	1,200円	1,200円	2,400円	
宜春亭 茶室(5名)	7,400円	7,400円	14,800円	

※6ヶ月前の同日午前10時から受け付けます。 ※別途入園料が必要です。



公園へ行こう!
発行: 文化財庭園課 TEL.03-3232-3018

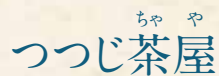
検索

お客様サポートセンター(協会事業全般に関するお問い合わせ)
TEL.03-3232-3038 ※8:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除く)
指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会
http://www.tokyo-park.or.jp

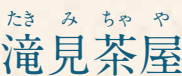


指定管理者 公益財団法人 東京都公園協会

江戸時代の大名庭園の中でも代表的なもので、明治時代に入って、三菱の創業者である岩崎彌太郎の別邸となりました。その後、昭和13(1938)年に岩崎家より東京市(都)に寄付され、昭和28(1953)年に国の特別名勝に指定された貴重な文化財です。



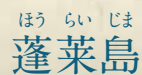
明治年間、つつじの古
木材を用いて建てられ
たものです。戦災をまぬ
がれ、現代にその希少
な姿を伝えています。モミ
ジの紅葉が見事です。



あずまやの横を溪流が走り、岩の間から落ちて水しぶきをあげています。あずまやからは、滝や石組（水分石／みずわけいし）などの景観や水音が楽しめます。



庭内の88カ所の景勝地（六義園八十八境）には、それぞれに石柱が建てられていましたが、現在では32カ所のみが残っています。



神仙思想を主題とした石組の一種で、典型的な洞窟石組(アーチ形)の島です。

六義園の名は、中国の詩の分類法（詩の六義）にならった古今集の序にある和歌の分類の六体（そえ歌、かぞえ歌、なぞらえ歌、たとえ歌、ただごと歌、いわい歌）に由来したものです。柳沢吉保自身の撰した「六義園記」では、日本風に「むくさのその」と呼んでいましたが、現在では漢音読みで「六義」を「りくぎ」と読む習わしから、「りくぎえん」と読みます。



ボランティアガイドと一緒に園内を散策しながら六義園の見どころ、日本庭園の話、歴史の話、和歌の話などを聞いてみませんか。

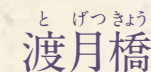
※土曜日曜、祝祭日の午前11時と午後2時の2回、所要時間約60分(無料)

園内で一番高い築山で、標高は35m。いただきは「富士見山」と呼ばれ、そこからは素晴らしい展望が開けています。紀州（現在の和歌山）にある同名の峠から名付けられました。



ささがにのみち

古くはクモを「蛛」と呼び、この小道がクモの糸のように細いことから名付けられました。



「和歌のうら 芦辺の田鶴の
鳴声に 夜わたる月の 影ぞ
さびしき」の歌から名付けられ
た石の橋。2枚の大岩の重量
感が、あたりの雰囲気を引き締
めています。

いものやま せの やま
妹山・背山

中の島にある築山。古くは女性のことを妹、男性のことを背と呼び、この中の島は男女の間柄を表現しています。イザナギ、イザナミの故事にちなむ「せきれい石」もあります。

※中の島には通常入ることができません。



大泉水の池畔の名のひとつ。
眺望に恵まれ、右手に中の
島、左手に蓬莱島、対岸に吹
上浜が見えます。

ない てい だい もん

内庭大門

庭園の中心に入るための門で
広場にはシダレザクラの大木が
植えられています。

